

第 34 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム開催にあたって

世話人代表 池田和隆
公益財団法人東京都医学総合研究所
依存性薬物プロジェクト
プロジェクトリーダー



この度、第 34 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムを担当させていただくことを大変光栄に存じます。

鎮痛薬・オピオイド研究会 (JNRC: Japanese Narcotics Research Conference, <http://www.jnrc.net/>) は、International Narcotics Research Conference (INRC) の日本組織として、日本における鎮痛薬およびオピオイドについての研究の発展を目指して 1980 年に発足しました。JNRC の主要事業として年 1 回シンポジウムが開催され、基礎と臨床の研究者と開発者が様々な情報交換を行い、日本の鎮痛薬・オピオイド研究の発展に貢献して参りました。

本年は、東京都医学総合研究所の第 8 回国際シンポジウム (Pain Modulation and Opioid Functions) と同時開催とし、当該研究領域の一層の国際化に寄与することを目指しています。また、最近急速に進展しているゲノム科学の成果を疼痛治療に生かしたテーラーメイド疼痛治療法の開発、疼痛対策が重要な歯科学領域での研究、臨床現場で大きな問題となっているオピオイドの副作用の研究など、最新の研究成果についてご講演、ご討論いただきたいと思えます。一般演題は広く受け付けますので、当該研究領域に少しでも関わる研究成果はぜひ積極的にご発表いただきたいと願っております。

東京都医学総合研究所は発足して 4 年目のまだ新しい研究所ですので、研究所見学も兼ねてお越しいただければ嬉しく思います。